

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

|      |                        |       |             |
|------|------------------------|-------|-------------|
| 氏名   | S.N                    | 学部・学科 | 国際商学部・国際商学科 |
| 学年   | 4年                     | 派遣国   | フィンランド      |
| 派遣大学 | オウル大学                  |       |             |
| 期間   | 2022年8月26日～ 2022年5月29日 |       |             |

【生活編】

1. 滞在先

|      |                                    |   |      |   |     |   |
|------|------------------------------------|---|------|---|-----|---|
| 滞在形態 | 学外の学生寮                             |   |      |   |     |   |
| 部屋   | 4人部屋                               |   |      |   |     |   |
| 設備   | *共同=◎ 部屋にあるもの=○                    |   |      |   |     |   |
|      | トイレ                                | ◎ | シャワー | ◎ | 洗面所 | ◎ |
|      | キッチン                               | ◎ | 冷暖房  | ○ | 冷蔵庫 | ◎ |
| 滞在費  | 約 ( 45000 ) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃        |   |      |   |     |   |
| 移動   | ( 徒歩 ) で、約 ( 3 ) 分 *大学までの所要時間と移動方法 |   |      |   |     |   |

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

| 項目     | 金額     | 内訳                  |
|--------|--------|---------------------|
| 食費     | 15000円 | 自炊・学食がメイン           |
| 学用品購入費 | 0円     | 学期の最初に学部の会費を1万円ほど払う |
| 交通費    | 3000円  | 中心街に行く際などのバス費用      |
| 交際費    | 20000円 | 学部主催のパーティが高頻度である    |
| その他    | 円      |                     |

**合計**

**38000円**

\*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安状況に関しては、他のヨーロッパの国よりは格段に良い。  
 しかし、お酒の購入時間が夜の9時までと規制されているほど、お酒に関する事件は多発している。夜は1人では危ないかもしれない。  
 危険地域は、大学と中心街の間にある地域全般。主にトッピラ、メリトッピラ。また、中心街の公園より南側100m-200mの地域。

### 3. 医療について

#### (1) 海外旅行損害保険について

|       |            |     |              |
|-------|------------|-----|--------------|
| 保険の名称 | 学研災付帯海学    |     |              |
| 加入期間  | ( 10 ) ヶ月間 | 保険料 | ( 130000 ) 円 |

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

|       |         |     |       |
|-------|---------|-----|-------|
| 保険の名称 |         |     |       |
| 加入期間  | ( ) ヶ月間 | 保険料 | ( ) 円 |

### 4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 ( **オウル** )

オウルは、フィンランド中部に位置する都市。北ポフヤンマー県の県庁所在地。オウル郡に属している。国内で5番目に人口が多く、地理的には日本でいう北海道である。オウル川沿いでは豊富な水量を利用した水力発電が盛んであり、金属・化学工業が発展している。周辺には森林が広がり、かつては木材・パルプが主力産業だった。また10年ほど前までは、ノキアという会社に勤めている人ばかりの企業城下町となっていた。住民によると2012年のノキア経営不振により、現在は以前より随分と廃れたとのこと。

また、オウルは5G開発に力を入れていることや、エアギター世界選手権の開催地として有名である。街の中での交通手段はバスがメインで、電車は他都市移動のための長距離電車のみとなっている。

## 【学業編】

### 1. 大学情報

|       |  |         |            |
|-------|--|---------|------------|
| 大学    | オウル大学  | 所在地     | フィンランド、オウル |
| 最寄空港  | オウル空港  | 空港からの距離 | バスで1時間     |
| 空港⇄大学 | (1時間に1本、8番のバスが大学と空港を乗換なしでつなぐ) *移動手段  |         |            |
| 学生数   | 13000  | 留学生数    | 500        |
| 学部    | 生化学・分子医学<br>教育<br>人文科学<br>情報技術・電気工学<br>医学<br>オウルビジネススクール<br>科学<br>テクノロジー<br><br>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。 |         |            |
| 学部/専攻 | オウルビジネススクール<br><br>*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。  |         |            |

## 2. 週間スケジュール

① ( 9 )月～( 10 )月

|    | 月曜日 | 火曜日                      | 水曜日    | 木曜日                      | 金曜日   |
|----|-----|--------------------------|--------|--------------------------|-------|
| 午前 | 自習  | 初級フィンランド語講義<br><br>国際戦略論 | 自習     | 初級フィンランド語講義<br><br>国際戦略論 | 国際戦略論 |
| 午後 | 自習  | 自習                       | 留学生交流会 | 自習                       | 自習    |

② ( 10 )月～( 12 )月

|    | 月曜日           | 火曜日       | 水曜日                            | 木曜日 | 金曜日       |
|----|---------------|-----------|--------------------------------|-----|-----------|
| 午前 | 自習            | 戦略マネジメント論 | 戦略マネジメント論<br><br>マネジメントコントロール論 | 自習  | 戦略マネジメント論 |
| 午後 | マネジメントコントロール論 | 自習        | 留学生交流会                         | 自習  | 自習        |

③ ( 1 )月～( 2 )月

|    | 月曜日     | 火曜日            | 水曜日    | 木曜日            | 金曜日   |
|----|---------|----------------|--------|----------------|-------|
| 午前 | 自習      | イノベーションマネジメント論 | 自習     | 国際ビジネス論        | 国際戦略論 |
| 午後 | 国際ビジネス論 | 自習             | 留学生交流会 | イノベーションマネジメント論 | 自習    |

④ ( 3 )月～( 5 )月

|    | 月曜日        | 火曜日 | 水曜日        | 木曜日 | 金曜日        |
|----|------------|-----|------------|-----|------------|
| 午前 | 自習         | 自習  | ベンチャー企業成長論 | 自習  | 自習         |
| 午後 | ベンチャー企業成長論 | 自習  | 留学生交流会     | 自習  | ベンチャー企業成長論 |

### 3. 履修内容

|         |  |     |   |
|---------|--|-----|---|
| 科目（和訳）  | 初級フィンランド語  |     |   |
| 履修期間    | 2021/09/01-2021/10/14                                  | 単位数 | 1 |
| 授業内容／形態 | 週 2 回のフィンランド語の授業。挨拶など基本的なことを学ぶ。<br>一斎授業&グループワーク(オンライン) |     |   |

|         |  |     |   |
|---------|--|-----|---|
| 科目（和訳）  | 国際戦略論  |     |   |
| 履修期間    | 2021/09/01-2021/10/14  | 単位数 | 2 |
| 授業内容／形態 | 国際化の理由・方法、産業の国際化というような企業の国際化・グローバル化のプロセスの理解を深める授業。<br>主に、教授がスライドを使って進める一斎授業(オンライン) |     |   |

|         |   |     |   |
|---------|---|-----|---|
| 科目（和訳）  | 戦略マネジメント論   |     |   |
| 履修期間    | 2021/10/22-2021/12/07   | 単位数 | 2 |
| 授業内容／形態 | ある 1 つの企業に関して、1 グループ 5 人で市場分析・マーケティング戦略をする。毎週グループで 3 ページほどのレポート提出をする。そしてそのグループで最終プレゼンを行う。(対面授業) |     |   |

|         |  |     |   |
|---------|--|-----|---|
| 科目（和訳）  | イノベーションマネジメント論   |     |   |
| 履修期間    | 2022/1/10-2022/2/27  | 単位数 | 2 |
| 授業内容／形態 | 新たな価値・技術が創出された際に企業がとるべきアプローチや戦略に関する講義。<br>主に、教授がスライドを使って進める一斎授業(オンライン) |     |   |

|         |   |     |   |
|---------|---|-----|---|
| 科目（和訳）  | 国際ビジネス論   |     |   |
| 履修期間    | 2022/1/10-2022/2/27   | 単位数 | 2 |
| 授業内容／形態 | 世界的にビジネスを展開していく際、文化や政治などの環境に対応しようと企業には制度的な (institutional) 行動が生まれる。その“制度的”に関して追求していく講義。<br>主に、教授がスライドを使って進める一斎授業(オンライン) |     |   |

|         |  |     |   |
|---------|--|-----|---|
| 科目（和訳）  | ベンチャー成長戦略論   |     |   |
| 履修期間    | 2022/03/14-2022/04/29  | 単位数 | 2 |
| 授業内容／形態 | 急成長している起業家精神の概念と、ベンチャーを構築および拡大するプロセスにおける戦略的アプローチに焦点を当てる。<br>主に、教授がスライドを使って進める一斉授業(オンライン) |     |   |

## 【総括】

(1) 全体的な感想 \*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

新型コロナ感染症拡大の影響で、交換留学プログラム参加決定から 2 年、そして 9 ヶ月の留学、あっという間でした。全てのことが一瞬のようであり、濃密でもありました。

留学前に想像していたオウルでの生活は、自然、サンタクロース、5G 開発というイメージでした。実際に行ってみると、全く想像と違う国、地域でした。「小さな幸せを全力で見つけて楽しむ国」と印象が留学を終えてあります。日本のように作られた娯楽が街中に溢れているわけではないので、フィンランドでは最低限あるものを活用し日々を過ごしていました。木が落ちていたらそれを薪にバーベキュー、凍った湖で釣り、空き家があれば貸切パーティなど。何気ない日常でしたが、それがとても楽しい思い出になりました。

学生生活に関しては、新型コロナウイルスの影響で留学中ほとんどのクラスがオンラインでの受講となりました。ただ、オウル大学の講義で得るものは多く、留学を終え自分が大きく成長できたという自信が、今あります。まずは、英語で受講をする点。初めは知らない単語や、リスニング能力の欠如から、講義を理解することに必死で、そこから自身の意見を述べる次の段階に進むことは難しかったです。そこから徐々にやり方、こなし方を身につけていくことで、最終的には修士向けでディスカッション形式の講義にも参加することができるようになりました。

講義内容に関しては、今まで横浜市立大学で履修してきた講義をさらに発展させた内容のものが多かったです。例えばオウル大学の「Venture Growth Strategy」の講義は横浜市立大学の「起業家に学ぶ」の内容をさらに深掘りしたものです。そのため、内容の理解はしやすかったです。ただ、その理解から新たな自分の意見を構築・発信することが求められ、それを毎回の小課題、期末課題に還元することは容易ではありませんでした。

交友関係に関して、オウル大学は交換留学生が 500 人ほどいて、交流の幅を広げるさまざまなイベントも頻繁に開催されるため、たくさんの人と出会うことができました。フィンランドでは土日は仕事・勉強を一切しないのが当たり前だったので、そんな休日に交流する友達を持つことはとても重要でした。私は幸いなことに、フィンランド人の仲良し 5 人グループと毎日一緒に過ごすことができ、フィンランドならではの経験や、フィンランド人しかいないようなイベントに参加することができました。また、長期休みの際には、他の留学生と旅行を計画し、学生らしく、はしゃぐことができました。交友関係に関しては一切の悔いはなく、とても充実した休日を過ごせていました。

フィンランドでの生活は勉強以外することがなく、つまらないという交換留学生がたくさんいました。ただ、私はこの留学を通じて、勉強も遊びも自分次第であり、自分がどのように工夫して学ぶか、遊ぶかによって満足度・幸福度は変わるものだということと、フィンランド人はその工夫が得意な人が多いということ学びました。

(2) 今後の展望 \*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

学業に関しては、この留学生活で学んできたことをもとに海外で経営学修士号取得をしたいです。私が留学をした際、私は大学3年生だったのにも関わらず、ほとんどの留学生、ましてやオウル大学の新生よりも年下でした。兵役や、大学に入る時期が自分で選べるなどの理由があるそうです。そして、そんな彼らは、修士号を取得するのが当たり前であり、就職する際にそれが不可欠です。それを踏まえると、私は、まだ日本ですぐ就職する必要がないのではと思いました。フィンランドでの就職は24歳から27歳の間が平均だそうです。

また、今回の留学でせっかくレベルアップすることができた英語能力を低下させないためにも、英語に触れる生活を心がけていきたいです。日本で英語に触れる機会は、自分で作らない限り自然に触れることはできません。なので、今秋、横浜市立大学にくる新規交換留学生との交流は必ずすると決めています。また、英語能力試験などを受けること、海外にいる友人との連絡を継続して取ることも随時していきます。

(3) 後輩へのアドバイス \*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

フィンランドの極夜の対策は大事です。フィンランドでは冬に太陽が昇らない日、極夜があります。そして、太陽の光を浴びる時間が極端に少ないとうつ病を抱える原因になると言われています。何か気晴らしになる娯楽を見つけたり、ビタミンDのサプリメントを取るなど対策は必ず必要です。

また、フィンランド人の主な娯楽はコーヒーとお酒です。全員が全員ではないですが、お昼にコーヒー、夜にお酒を異常なほど飲みます。飲み過ぎの対策としてお酒の購入時間、場所が厳しく制限されているほどです。フィンランドの方と交流する際、同じペースでお酒・コーヒーを飲むのは危険です。どんなに自信があっても、体の作りが違うことを念頭に嗜んだ方が良いです。

学業面に関しては、日本語の講義が英語に変わるだけなので、予習・復習を多めにする程度で大丈夫です。あとは自分の意見を述べるときは述べることです。

また、逆に勉強のしすぎもよくないと思いました。休日に勉強を理由に遊びを断ると、ワークホリック扱いを皆に100%されます。そこはフィンランドのやり方で、休むときは休むことを徹底したほうがいいかもしれません。